

症例報告3

要旨

ストーマ周囲皮膚の合併症の発生率は高く、ストーマ造設患者の半数以上が生涯のうちにストーマ周囲皮膚の問題を経験しています¹。合併症の種類、原因、それらの治療方法は、それぞれ大きく異なります。医療従事者は、ストーマ周囲皮膚の合併症の管理に多くの時間と労力を費やしています。患者にとって、ストーマ周囲皮膚の痛みは、生活の質に大きな影響を与えかねません。ストーマ周囲皮膚の合併症は、ストーマ造設後の最も一般的な術後合併症です²。この症例報告で、そのような症例の1つをご報告します。

目的

患者に適した面板を選択し、ストーマ周囲に面板が適切に密着することで、ストーマ周囲皮膚の異常を改善させ、健康な状態を維持すること。

背景

本症例報告は、患者の自宅という地域社会を背景としています。この患者は、潰瘍性大腸炎に対して回腸囊作成および一時的ループ式回腸人工肛門造設術を伴う結腸全摘術を受け、術後3カ月でした。

患者の概要

患者は成人女性です。5年前に潰瘍性大腸炎と診断され、悪化したためストーマ造設術を受けることを決断しました。過敏症および薬物アレルギーの既往はありませんでした。

術後の回復は良好であったものの、入院中は排泄量が多く、食事療法により排泄量がコントロールされました。最初、標準的な装着期間の皮膚保護剤と排出可能なストーマ袋を備えた単品系装具を使用しました。これにより、ストーマ周囲皮膚を刺激したり傷つけたりすることなくストーマ袋を毎日交換することができました。しかし、ストーマが成熟するとともに、漏れを防ぐためには、凸型の皮膚保護剤が必要であることが明らかになりました。患者は、さまざまな装具を試した結果、装着期間の長い凸面型面板の二品系装具が自分のニーズに合っていることが分かりました。面板を2日に1回交換し、ストーマ袋を毎日交換することにしました。

問題

患者はときおり来院時に、ストーマ周囲皮膚が痒いと訴えることがありました。多くの場合、診察では皮膚の異常を示す所見はありませんでした。患者は普段、ストーマおよびストーマ周囲皮膚の洗浄に水を使用していたことが確認されました。石けんを使用することもありましたが、その場合は無香料の石けんを使用し、十分にすすいで乾かしてから新しい面板を装着していました。

予定していた自宅訪問の前に患者から電話があり、ストーマ周囲皮膚に痛みとかゆみが生じたため訪問を早めてほしいと依頼されました。その症状のため、ベッドに寝ているしかないほど患者のQOLは損なわれていました。患者の自宅で確認したところ、ストーマ周囲皮膚に傷はなく、炎症の所見もありませんでしたが、患者は苦痛を感じていました。長時間話し合った結果、患者のストーマ周囲のスキンケアの方法にも薬剤にも変化はないことが確認されました。

裏面に続く

症例報告3

ケアの実際

患者とさらに話し合い、「ニューイメージ セラプラス 凸面」を試し、2日に1回変更することになりました。

結果

患者はセラプラスの装具を7日分提供され、経過をみるため次回の予約を入れました。しかし、セラプラス皮膚保護剤の使用開始から4日目に患者からメールがあり、新しい皮膚保護剤を「非常に気に入る」、皮膚は「極めて快適」であり、患者の生活に苦痛をもたらしていたかゆみは消失したと報告されました。

結論

かゆみはこの患者のQOLに悪影響を及ぼしていました。臨床的観点からは、ストーマ周囲皮膚に損傷も炎症もないという状況では、かゆみの治療は非常に困難なものとなる可能性があります。本症例報告は、「セラプラス皮膚保護剤」を導入することで、この患者のケアプラン全体により影響があったことを明確に示しています。

ストーマ保有者の多くは、ストーマ周囲皮膚に問題が生じて、ストーマを造設したら、仕方のないこととしてそれらの問題を受け入れていました³。幸い、この患者は支援を求め、ストーマ周囲皮膚は目に見えて改善しました。皮膚刺激を軽減する手段として、ストーマ周囲の十分な密着を達成し、漏れを防止しても、ストーマ周囲皮膚を健康に保つには十分でないこともあります。皮膚保護剤の成分もストーマ周囲皮膚の健康に影響を及ぼします。皮膚保護剤の配合成分と密着性の適切な組み合わせを見つけることは、ストーマ周囲皮膚を健康な状態に維持するために不可欠です。

引用情報:

1. Richbourg L, Thorpe J, Rapp C. *Difficulties experienced by the ostomate after hospital discharge.* J Wound Ostomy Continence Nurs. 2007; 34(1):70.
2. Meisner S, Lehur P-A, Moran B, Martins L, Jemec GBE. *Peristomal Skin Complications Are Common, Expensive, and Difficult to Manage: A Population Based Cost Modeling Study.* PLoS ONE. 2012; 7(5): e37813.
3. Whiteley IA and Sinclair G A Review of *Peristomal Skin Complications Following the Formation of an Ileostomy, Colectomy or Ileal Conduit.* World council of Enterostomal Therapists Journal, 2010; 30(3) p. 23-29.

この症例報告は、特定の患者に「ニューイメージ セラプラス 凸面」を使用した場合の一人の看護師の経験を示すものであり、すべての症例に適応できるとは限りません。

ご使用前にパッケージに同梱された「製品の使用目的」「禁忌」「警告」「注意事項」、および「使用方法」を必ずお読みください。

Hollister (ホリスター) のロゴ、CeraPlus、および「Healthy skin. Positive Outcomes. (『健康な肌』からより良い毎日を支える。)」はホリスター社の商標です。

その他のすべての商標と著作権はそのそれぞれの所有者に帰属します。

製品の中にはCEマークがついていないものもあります。

© 2019 Hollister Incorporated.



リモイスはアルケア株式会社の技術です。



製造元 Hollister Incorporated

販売元 株式会社ホリスター

0120-032-950